

地域ヒアリングでの意見要旨

南地区エリア

日 時：平成 31 年 2 月 22 日 14：00～15:30

場 所：下発地公民館

■地域の課題

○産業について

- ・少子高齢化により、農家の後継者が不足している。現在、下発地の専業農家は 6 件しかない。農業をやりたいと思っている人は、ほぼいない。
- ・世代が変わり、軽井沢で就業し、安定して生活できるのかが問題である。通年で作業ができない事が障害となっている。
- ・荒廃農地を含め最大限に生産しても、3 世帯しか養えないという試算がある。

○休耕田について

- ・休耕田の活用について、以前よりコンサルタントを含めた議論を進めているが、解決の方向性は見出せていない。
- ・水はけが悪く、そのままでは野菜や牧草を栽培できない。
- ・野鳥の種類や数が減ってきているが、草が伸びて餌を探せないのが原因の一つと考えられる。(ex. オオジシギ)

○その他

- ・空き家が増えている。
- ・軽井沢の貧しかった時代を知っている地元住民と、移住者が同じ方向を向いて議論できるのか疑問である。
- ・リタイアして移住してきた人の声が大きくなりがちで、地元住民との不公平感が生まれるように思う。

■望ましい将来像など

○休耕田の活用案

- ・南地区に足りない産業は畜産だと思う。遊休農地や水田に家畜を放牧できる。また、和牛の繁殖牛、子牛を生産する方向性もある。(冬季が課題)
- ・栗林を作ればいいのではないか。拾えばよいので、安全に収穫できるし、農薬もあまり使わない。
- ・休耕田沿いにサクラを植えれば、観光資源になる。
- ・サイクリングや乗馬などに活用したらどうか。

○その他

- ・地域として、農業を推進するのがよい。
- ・発地市庭は野菜だけでなく手作りの小物も販売しており、高齢者にも女性にもよい施設である。

- ・エリアデザインをエリアごとに進めると、町全体がどういう方向に進むのか見えないのではないか。
- ・ホテルの保護活動は、町の観光の底上げの一助になっていると思う。
- ・浅間山が噴火しても、発地は比較的安全なことから、町の施設・拠点があってもよい。